

議題2 山田緑地における新たなエコプレイパークのあり方

I エコプレイパークとは

- ・自然を知るうえで最も基本となる素材（火、水、木、土、風など）に触れる場を提供する。
- ・自然のなかで土（泥）、火、材木等を使って自分の手でつくり、考えながら楽しく遊ぶ空間。

（山田緑地基本計画より）

II 旧エコプレイパークの課題

来園者が自然観察路へ足向ける動機付けとして山頂部に設置

- 経路が急勾配であるため、アプローチが困難であった。
- ・施設の魅力が低く、リピーターを生み出せなかった。



III 新エコプレイパークの整備方針

- ・気軽に利用できる芝生広場からより自然度の高い空間へと利用者を導くように配置していく。
- ・自然環境の心地よさを活かした空間とする。
- ・山田緑地らしさを組み込む。

火、水、木、土、風の5要素をテーマにした「30世紀の森づくり」の遊び場

- ・テーマ要素を核とし、設置する箇所の自然環境の魅力を活かした整備とする。
- ・水、木、風に加え、新たに火、土の遊び場を設置する。
- ・「森づくり」で生じる副産物を活用する。

整備イメージ		今後の整備方針
「火の遊び場」		<ul style="list-style-type: none"> ・森づくりの過程で発生する薪を使用する場所として焚き火エリア(ファイアプレイス)を核とした広場整備。 <p>森づくりにおける焚き火の意義</p> <ol style="list-style-type: none"> ① 間伐材の活用し、熱・光・灰を生み出す。 <ul style="list-style-type: none"> ・熱の活用→冬の暖、調理 ・光の活用→夜の活動 ・灰の活用→森、草原を育てる肥料 ② 薪材樹種による香りや燃え方の違いを体感することで木を学ぶ。 ③ 森づくり資金源として薪材の販売(ブランド化)
	PAL-PARK	

整備イメージ		今後の整備方針
「土の遊び場」	 <p>泥んこ遊び</p>  <p>田んぼ、畑づくり</p>	<p>案A 「泥んこ遊びのできる空間整備」</p> <ul style="list-style-type: none"> ・保育所・幼稚園の団体をターゲットとした遊び場 <p>案B 「田んぼ、畑づくり」</p> <ul style="list-style-type: none"> ・森づくりの一環としての体験の場
	PAL-PARK	

現況		今後の整備方針
「風の遊び場」		<ul style="list-style-type: none"> ・良好な芝生地の維持。 ・植栽基盤改良による芝生内樹木の生育改善。 ・心地よさを体感できるしかけ(ハンモック貸出し等)。
芝生広場	心地よい風が吹き抜ける開放的な空間は老若男女問わず楽しみ、くつろげる空間	

現況		今後の整備方針
「水の遊び場」		<ul style="list-style-type: none"> ・川底のひび割れや藻の繁茂による転倒など利用時の安全面の向上を図る。 ・自然の流れ(小熊野川)への親水空間の整備が求められる。
せせらぎ広場	草原を流れる小川をイメージした流れは低年齢層の子ども連れに人気の空間	

現況		今後の整備方針
「木の遊び場」		<ul style="list-style-type: none"> ・より多くの人々が利用できるように自由使用を前提とした木を体感する空間の整備が必要。
イチイガシの森	指定管理者の提案事業で整備されたツリーハウスがシンボリックであるが、一般利用はできない。	

